

令和7年9月8日

○字跡を記入した義務教育の未修了者等の10代から80代までの幅広い年齢の生徒が学習している。そのため、生徒一人一人の習熟度、学習ペースにあった教育活動を行う。
また、近年、外国籍の子供が増加しており、すべての子供の基礎となる日本語や日本文化、日本の生活習慣を理解させるとともに、彼々の生徒の実態に即した教育活動を行う。

○平日に1時間以上日本人生徒のために日本語で学習するコースを設定する。
○英語圏出身の4校時に「英会話タイム」として英会話を教える機会を設ける。
○犯罪に巻き込まれないように、関係機関等との連携を図りながらセーフティ教室や安全指導を推進し、非行・犯罪防止教育の充実を図る。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

[illegible]

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である B：自己評価はおおむね適切である C：自己評価は適切ではない D：評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。